令和９年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学　校　名	課　　程
４６	会津農林高等学校	全日制

アドミッション・ポリシー
会津農林高校では、次のような生徒を求めています。 ①　安全・安心の農業生産及び植物・動物の栽培・飼育、農業経営など専門教科の学習に興味・関心そして意欲のある生徒 ②　特別活動（生徒会・部活動・農業クラブ・伝統継承等）に意欲のある生徒 ③　将来の農業の担い手や地域の産業を支える人材となるため、自分自身を磨こうとする意欲のある生徒

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募　集 定員枠	志願してほしい生徒像
農業科	各　科 ２０％ 程　度	農業の実践的な教育をとおして、農業や地域産業を支える核となる人材の育成を目指しており、次のⅠ型、Ⅱ型における①、②のいずれかに該当する生徒を求めている。
生産科学科		Ⅰ型：学業 ①　作物・野菜・果樹の栽培、家畜の飼育に興味・関心を持ち、スマート農業の実践やGAP認証取得、６次化商品開発等に意欲的に取り組む者。 ②　農業後継者や農業関連分野への進学・就職を希望する者。
環境科学科		Ⅰ型：学業 ①　森林資源の利用や環境保全、造園に興味・関心を持ち、測量や農業土木、桐・漆の栽培、林産物の利用等に意欲的に取り組む者。 ②　森林、造園、土木分野への進学・就職を希望する者。
食品科学科		Ⅰ型：学業 ①　食品の加工や発酵食品、食品の栄養や成分分析について興味・関心を持ち、発酵醸造の研究や商品開発、食品検査等に意欲的に取り組む者。 ②　食品関連分野への進学・就職を希望する者。
地域創生科		Ⅰ型：学業 ①　そばや会津伝統野菜、草花の栽培、福祉・介護に興味・関心を持ち、６次化商品開発、そば打ち認定二段以上、農業と福祉の連携による地域活性化などに意欲的に取り組む者。 ②　農業関連や福祉・サービス分野等への進学・就職を希望する者。

生産科学科 環境科学科 食品科学科 地域創生科		Ⅱ型：特別活動 ① 中学校において、生徒会活動や部活動(運動部・文化部)や地域のクラブ活動等に積極的に取り組んでおり、入学後も向上心を持って３年間継続する意欲のある者。 ② 入学後、農業クラブ活動や伝統継承等に意欲的に取り組もうとする者。

選抜資料						
学力検査	特色選抜志願理由書	調査書	特色面接	特色検査	選抜資料の満点	備考
５教科とする。 学力検査の満点は 250 点とする。	本校の当該学科への志望動機及び将来への抱負、高校生活で学びたいこと等について具体的に本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は 135 点満点とし、「特別活動の記録」、「その他の活動及び長所・特技等の記録」は 55 点満点として、合計 190 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校で学ぶ意欲や自らの考えをまとめ、表現する力をみる。 面接は点数化し、100 点満点とする。	作文を実施する。 課題について、自らの考えを述べるものとする。 作文は点数化し、100 点満点とする。	全体の満点は 640 点とする。	

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選抜資料			学力検査と調査書の成績の比重	備考
		学力検査	調査書	一般面接		
農業科 生産科学科	（３５）	５教科とする。 学力検査の満点は 250 点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動の記録」、「その他の活動及び長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	集団面接を実施する。 集団面接では目的意識や適性を確認し、表現する力をみる。 面接は段階評価する。 ※特色選抜との併願者は、特色面接と別に一般面接を実施する。	同等とする。	
農業科 環境科学科	（３５）					
農業科 食品科学科	（３５）					
農業科 地域創生科	（３５）					

【後期選抜】

大学科 小学科	選抜資料			備考
	調査書	面接	小論文（又は作文）	
農業科 生産科学科 環境科学科 食品科学科 地域創生科	「各教科の学習の記録」は 135 点満点とし、「特別活動の記録」及び「その他の活動及び長所・特技等の記録」は 55 点満点として、合計 190 点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	個人面接を実施する。 個人面接では目的意識や適性を確認し、表現する力をみる。 面接の内容には中学校における学習活動の成果を問う内容（国語、社会、数学、理科、外国語（英語））を含む。 面接は段階評価する。	作文を実施する。 課題について、自分の考えを述べるものとする。 作文は点数化し、100 点満点とする。	